

平成 27 年度 第 3 回 学校協議会

平成 28 年 3 月 2 日(水) 本校校長室において第 3 回の学校協議会を開催しました。委員の皆さん全員の出席のもと、学校側からは、校長、教頭、事務長、各分掌長が出席しました。

今回は、今年度最後の協議会として、教育活動の報告や様々な評価結果に対して、委員から助言をいただくことにより、それぞれの成果と課題を明確にし、次年度の教育活動の方向性を決定していくためのものとなりました。

内容

1 協議

- ① 分掌等の取組計画について
- ② 授業評価アンケートについて
- ③ 学校教育自己診断について
- ④ SGH について
- ⑤ 平成 27 年度、平成 28 年度学校経営計画及び学校評価について
- ⑥ 来年度に向けての取組と提言

2 委員からの意見等

【分掌の取組計画について】

保護者を巻き込んで遅刻指導を強化すべきである。SGH を、中学生を能勢高校にひきつける材料とする方法を考えるのが良い。

【授業評価アンケート結果について】

小テストを様々な教科で、定期的に一定レベルを設けて実施すると効果的である。基本的に勉強の仕方も教えることが必要である。

【学校教育自己診断結果について】

宿題はやらなければいけないという意識付けを常にしていく必要がある。診断結果を活用して改善の方法を考えて欲しい。

【平成 27 年度、28 年度学校経営計画及び学校評価について】

平成 28 年度が SGH2 年目となるが、SGH により地域へのアピールを考えて能勢高校を充実させることで、地域活性化に繋がるように進めて欲しい。

【来年度に向けての取組と提言について】

学校協議会でも具体的な新たな改善内容を提案していきたい。また、その提案を活用して更なる教育内容の魅力化を図っていくことが肝要である。